

令和3年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和3年12月3日（金曜日）

○日時 令和3年12月3日 午後3時37分開会

○場所 委員会室

○議件

1. オンライン行政視察の取りまとめ方法について

○出席委員（8名）

委員長	小田部 照
副委員長	山田 庫司郎
委員	栗田 政男
	立崎 聡一
	永本 浩子
	平賀 貴幸
	古田 純也
	村椿 敏章

○欠席委員（0名）

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（0名）

○事務局職員

事務局 長	林 幸一
次 長	石井 公晶
総務 議事係	早瀬 由樹

午後3時37分開会

○小田部照委員長 それでは、総務経済委員会を開会いたします。

本日の委員会では、先ほど行われました、オンライン行政視察の取りまとめ方法について御協議いただきます。

これまで行政視察終了後に報告レポートを提出し、それを基に、後日委員会を開催し、口頭で報告を行ってきました。報告レポートはこれまで市のホームページにも掲載しております。

今回、オンラインでの視察ということで初めての試みでしたが、常任委員会の行政視察という点では、今まで同様だと思われます。

報告の方法について、委員の皆様の御見解をお聞

かせいただきたいと思います、いかがでしょうか。

○平賀貴幸委員 今回もですね、従来どおり、文章による報告書と、それと口頭で取りまとめという形でよろしいかと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○永本浩子委員 レポートとして出したほうがいいのではないかなと思います。従来通り、委員会で話し合いながら。

○小田部照委員長 ほかの委員、いかがでしょうか。

〔「異議あり」と呼ぶ者あり〕

○栗田政男委員 大変すごいなと思って聞いていました。ただ、レポートにまとめるだけのものが、この短時間の間に、私は実はないのですね。資料を頂いていますから書けと言われれば書けないことはないですけども、この事業は非常に先進的なものです。けれども、当市において、じゃあこれを具現化していくというのは非常に厳しいハードルがあるのかなということで、事業は事業として確認をしていただいたということなので、僕はレポートまでの必要性はなくて、皆さんで意見を出し合って、それをまとめた形で議事録という形で残していただければいいのではないかなと思うのですが、皆さんはレポートを出したいみたいなので、多数決ですからそれに従いたいと思います。

○小田部照委員長 ほかの委員。

○山田庫司郎委員 あまり副委員長がしゃべるのはよくないかもしれませんが、やっぱりレポートを出すのがいいという考え方が根っこにあるのかもしれませんが、今栗田委員から出たように、今日は、本当に40～50分間かせていただいて、ただ資料があるのでということになると、資料を見ながら自分で判断してレポートを書くのが果たしてどうなのか。本来ですと、向こうに行ったときには現場の方とお話ししたり、いろんなことの知識もあってですね、こういう感想ということでレポートに書けるのですが、例えば何かの講習会ではありませんが、資料をもらって、それを見ながらこうだった、これはいい、こうだと書くのが、果たしてどうなのかなと。資料は資料として大切にちゃんと報告の中につ

けながらですね、今日太田さんから聞いたことと、ある程度想像の範疇も含めてですが、私は口頭で、皆さんから、この事業に対して感想を頂いてね、それをまとめるだけで私はいいいのではないかと。

オンラインと現地に行く視察を差別する気はありませんけれども、なかなか報告を書くとなると、私は非常に、正直に言って難しいのではないかと。そんな意味で、副委員長がしゃべるとあまりよくないのですが、私は栗田委員と同じ考え方で、委員会の中で、皆さんから口頭で意見を頂いたものをまとめていけばどうだろうと、こんなふうになんかと思えますけれども。

○小田部照委員長 ただいま、山田委員のほうからも御意見いただきました。

今の状況ですと、平賀委員、永本委員のほうからは今までどおり文書での提出、また栗田委員と山田委員のほうからは、オンラインの視察ということで、現地に行く視察とはまた状況が違うので、口頭でのという発言ありましたが…はい、立崎委員。

○立崎聡一委員 私は従来どおりでよろしいかと思えます。視察に対して、Zoomという、今回初めて取り組んだ、これはコロナで仕方がないというのもありますし、変わりはないのかなというふうに思えます。

ただ、相手様の生の声を聞きたいというのは正直に言っていますので、その辺はあるのですが、皆さんの意見を取りまとめたと言っても、それもなかなか大変な作業になるのかなというふうに思っていますので、ここはレポートをやっぱり提出することによって、それをそのままというほうが、何でしょう、私も、そちらのほうがいいのかなというふうに思います。個人的には、です。平賀委員、永本委員と同じ意見ということでお願いします。

○小田部照委員長 それでは、ちょっと古田委員と村椿議員の御意見も聞きたいと思えます。

○古田純也委員 私はですね、文章にするとなかなか、さっきのボリュームの中では、量がちょっと書き出せないかなと思うので、口頭による取りまとめを願いたいと思えます。

○小田部照委員長 村椿委員はいかがですか。

○村椿敏章委員 私、初めて視察に参加したのですね。初めてなのです。

ただ、私が思ったのは、文章化してしまえば、ある程度自分の中で整理がつくかなというような気持ちがあったので、文章にしてもいいかなと思ったの

ですが、ただ栗田委員や山田委員が言ってるように、副委員長が言ってるようにですね、この短い時間でどこまで書けるのかと思いますので、私としては、取りまとめの部分については、自分で文章化しておこうかなと思いますけれども、委員全員がね、文章で、レポートとして出さなければ駄目だということもないのかなと、ふと思ったのですが、ただ、その最後の取りまとめの部分でね、必要な部分としてレポートがないと取りまとめができないのか、そういうことはないのですよね。

○小田部照委員長 ちなみにですね、全員協議会での取手市とのオンライン行政視察のときは、議会運営委員会なのですが、口頭での報告のみで終わっております。

できないということはないです。

○村椿敏章委員 それでは、口頭でいいと思います。

○小田部照委員長 今、全員の意見をお聞きかせいただきました。

3名の委員からは、今までどおりの文章でレポートして提出という意見、また、今回はオンライン視察ということで、口頭で十分ではないかというような御意見が4名いるような形でしたので、ここは多数決をとらせていただいでよろしいでしょうか。

○平賀貴幸委員 口頭での取りまとめになると、正副委員長の負担が大きくなりますけれども、正副委員長がそれで構わないということであれば、別に、無理に絶対にレポートを書かなければ駄目ということもないので、私は正副委員長にちょっと御足労かけますけれども、取りまとめたいただいてもいいのかなと思います。口頭で。

○立崎聡一委員 正副委員長は頑張っているの、何と云うのでしょうか、本当は、僕個人的には、一応経験しているものですから、取りまとめたことはないですけれども、どうしても負担がもともと大きいから、やっぱり皆さんがレポートを出してくれて、最後に正副委員長がつけてくれて、それでぽつと提出するのが一番いいかなと思っていたので、お二方が頑張ると言うのであればそれでいいかと思えます。

以上です。

○小田部照委員長 暫時休憩いたします。

午後3時47分休憩

午後3時52分再開

○小田部照委員長 それでは再開いたします。

オンライン行政視察の取りまとめ方法についてですが、委員皆さんの御意見を伺いましたところ、今回はリモートでの開催ということで、次回の委員会で、口頭で、それぞれ報告していただくという形をとりたいと思いますので、御了承いただけますでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定させていただきます。

それでは、その次にですね、次回の委員会の予定日を決めておきたいと思いますが、何か御意見などあれば頂きたいと思います。

〔「正副一任でいいです」と呼ぶ者あり〕

正副一任でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

わかりました。そしたら、こちらのほうで決定次第御連絡差し上げたいと思います。

○山田庫司郎委員 年内にはやります。

○小田部照委員長 なるべく年内にはやりたいと思っています。決定次第、連絡いたしますので。

その他委員のほうから何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、これをもちまして総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午後 3 時 52 分閉会
